



高山リーグ2024結果・2025開催

昨年度の高山リーグ2024は、交流戦後に順位決定のトーナメントを行いました。

決勝のカードは、一昨年の優勝チーム INXS を倒し勢いに乗る Rally と、安定の強さで危なげなく決勝進出の高山クラブとなりました。結果は古豪復活！高山クラブが優勝し王座に返り咲く事となりました。

高山リーグ2025も昨年度同様、交流戦後に順位決定トーナメントを6月から11月にかけて開催予定です。各チームに若い選手の登録もあり、より一層熱い戦いとなることが予想されます。高山クラブの牙城を崩すのはどのチームなのか？実力が拮抗しているだけに楽しみです。

(記事：一般広報委員 廣瀬勇)



地域クラブが活動スタート

令和7年度4月より、市内すべての部活動が地域移行により、地域クラブとなりました。これに伴いバスケットボールにおいても、地域クラブとして活動していくこととなりました。(下記の表参照)

地域クラブとしての活動はスタートしましたが、今後は、生徒数の減少に伴い、地域クラブの再編成や指導者の配置等の検討が必要となることが予想されますので、その都度、高山市バスケットボール協会が中心となって検討を進めていきます。

活動や指導に関わる内容については、指導者が中心となりますが、各地域クラブの運営については、保護者の協力が必要となります。持続可能な地域クラブとなるよう、指導者と保護者、当協会が連携を図り、どの選手も思いっきりバスケットボールが楽しめるように環境を整えていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

(記事：U15 広報委員 川上祐輔)

地域クラブ男子

- 日枝クラブ男子 (日枝男子)
- MK jr (松倉・国府男子)
- NAKAYAMAクラブ (中山男子)
- 男子東山クラブ (東山男子)

地域クラブ女子

- 日枝クラブ女子 (日枝女子)
- 高D o組 (松倉・国府女子)
- 中山中学校 (中山女子)
- 東山女子バスケットボールクラブ (東山女子)

TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION
飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!
編集・発行：高山市バスケットボール協会
tabba.jp



高山市バスケットボール協会は
賛助会はじめ協会を支えてくださる皆様のお力添えをいただきながら地方が疲弊化する中で若者にバスケットボールを通じて夢と誇りを持って頂きこの地域を支える大きな担い手としての存在に大きく成長してくれることを希望しながらこれからも協会活動に邁進していきます



「国府ミニバスケットボール部」を紹介

現在高山市で U12 カテゴリとして活動している「国府ミニバスケットボール部」を紹介いたします。国府ミニバスケットボール部では、『挨拶や礼儀を正しく集中力を養う』をコンセプトに楽しんで仲良くバスケットボールができる環境づくりに取り組んでいます。活動地域は、市内の小学校の体育館を利用して週2回(水・土)行っています。また、毎月1回のカップ戦や小坂ミニとの合同練習も行っています。部員数は1年生から6年生で14名です。



《ルール変更の対策》

小学生を対象としたミニバスケットボールにおいて、2027年までに現行のルールが大幅に変更されます。

ゴールの高さは260cmから305cm(中学生以上と同様の高さ)にボールの大きさは5号球から6号球(女子中学生以上のカテゴリで用いられている)にリングから6.75m離れた場所にスリーポイントラインが敷かれ、3点シュートが適用される予定です。新ルールへの変更は、2024年4月から3年間の移行期間が設けられています。「国府ミニバスケットボール部」では、2025年3月から適用し活動しています。



《キャプテン：加藤すすなさん(6年生)》

Q1：どんな時が楽しいですか？

A：仲間とバスケットボールを思いっきりやっている時がとても楽しいです。

Q2：どんな選手になりたいですか？

A：バスケットボールの試合中に活躍できる選手になりたいです。

Q3：今後の目標は何ですか？

A：1対1のディフェンスにおいて抜かれないディフェンスをしたいです。

《ある日の練習メニュー》

○アジリティトレーニング

○ドリブルレイアップシュート

○1対1ディフェンス強化

○ミートシュート

○2対2



《取材者の感想》

コーチが子どもたちに対して「できるよ!」「頑張れ!」「いいね!」など前向きで励ましの言葉が多く、楽しそうにバスケットをしている子どもたちを見て微笑ましく思いました。

コーチの言葉に耳を傾ける子どもたちも真剣でとても良い雰囲気でした。

(記事：U12 広報委員 味岡大輔)